

外傷に関する疫学的な研究に診療記録を使用することについてのお願い

患者様および患者関係者様 各位

〔目的と意義〕

外傷は、子供や若年層の死因第1位、2位を占め、社会的損失の大きい健康問題です。日本の将来を担う若い人たちの命が、外傷により奪われていることは憂慮すべき事態であり、外傷診療の質の向上は、国益を鑑みても非常に重要なことです。外傷診療の質の向上のためには、第1に外傷患者に関わるデータを広く集積すること、第2に集積したデータを解析すること、第3に解析結果を医療現場にフィードバックすることが重要です。そこで我が国では、日本救急医学会と日本外傷学会が中心となり、外傷データを集積・解析することを目的として「日本外傷データバンク」が構築され、多くの参加施設が外傷データの登録を行っています。

〔対象と方法〕

対象となるのは、救命救急センターを受診され、重傷外傷（6段階重症度ステージで3以上）を有する患者様です。外傷の診療を行った後に、「診療記録」から医学的事象について検討し、「日本外傷データバンク」に外傷データの登録を行います。診療後の作業ですから、患者様の診断や治療には直接関係いたしません。

〔個人情報の取り扱い〕

作業にあたって、患者様の年齢、性別、診断などの医学的な情報は必要ですが、氏名、生年月日など、個人の特定に繋がる情報はありません。また、集積されたデータを解析した結果について、医学会などで公表して研究を行う場合においても患者様のプライバシーが侵されることはなく、研究目的以外にデータを使用することはありません。お申し出により登録をしないことができます。お申し出により診療上の不利益を被ることはありません。

対象となる患者様で、以上の方法による診療記録の使用について、ご承諾いただけない場合や、より詳しい内容についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

診療記録の利用による「日本外傷データバンク」への外傷データ登録には、ぜひともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

名古屋掖済会病院 病歴管理課

所在地：名古屋市中川区松年町 4-66

電 話：052-652-7711（代表）〔内線：2685・2686〕

F A X：052-652-7783